

## 補正予算

平成29年度の当初予算は、97億1,200万円で編成しました。以後、3月までの間に6回の補正予算を編成し、執行してきました。

当年度の下半期では、新規事業として、明治維新150年事業、障害者総合支援事業、全国高等学校野球選手権大会出場支援事業などを追加し、ふるさと納税推進事業、私立保育園支援事業、施設型給付費等事業、更生医療給付事業、県営土地改良事業などを増額補正し、事業を実施しました。また、中期的な事業計画に基づき、財政調整基金の積み立てなどを行った結果、補正規模は5億8,215万5,000円になりました。

### 【平成29年度の一般会計補正予算の経緯】

(単位:千円)

時期	補正号数	補正規模	主な補正内容
6月定例	1号	△ 164,424	歳出面で、町イチ村イチ事業、地域子ども・子育て支援事業(病児保育事業)、農業次世代人材投資事業、理科教育設備整備費等補助事業、西公民館解体事業などを追加、総務管理事業、企画一般管理事業、高齢者福祉総務事業、地域型給付費等事業、農道及び農業用排水路整備事業などを増額、社会資本整備総合交付金事業、林業総務管理事業、長期債利子償還金などを減額
9月定例	2号	375,231	歳出面で、庁舎前駐車場整備事業、有田町感謝状贈呈式事業、天然記念物再生事業、中央運動公園施設整備事業などを追加、定住促進事業、道路橋梁維持事業、農地農業用施設災害復旧事業、公共下水道公営企業費などを増額
9月専決	3号	15,328	衆議院議員総選挙事業を追加
12月定例	4号	196,851	歳出面で、明治維新150年事業などを追加、障害福祉サービス事業、私立保育園支援事業、施設型給付費等事業、子どもの医療費助成事業などを増額、歳入面で、使用料及び手数料、国庫支出金、県支出金、基金繰入金、諸収入、地方債などを増額
12月専決	5号	315,630	歳出面で、ふるさと納税推進事業を増額、歳入面で、寄附金、基金繰入金を増額
3月定例	6号	△ 156,461	歳出面で、障害者総合支援事業などを追加、私立保育園支援事業、施設型給付費等事業などを増額、衆議院議員総選挙事業、介護保険事業、児童手当事業、佐賀県西部広域環境組合事業などを減額、歳入面で、分担金及び負担金などを増額、県支出金、基金繰入金、地方債などを減額
計		582,155	

※「定例」は定例町議会、「専決」は専決処分によることを示しています。